

【国際日本学研究科】

Q1：博士前期課程入学後どんな授業を履修するのか？ 時間割は？

A：指導教員が担当する演習科目8単位と講義科目2単位、オムニバス講義の「国際日本学総合研究」2単位を含む、30単位以上の修得が必要です。また、当該年度開講科目の授業内容や学位取得プロセス・必要単位数等をまとめた「シラバス」や学生生活に関する必要情報をまとめた「便覧」、「授業時間割」については研究科HP上で公開しています。

<http://www.meiji.ac.jp/ggis/syllabus.html>

Q2：自分の研究したい内容が、国際日本学研究科で研究できるかどうか確認したい。また、その内容が、どの教員に合うか知りたい。

A：国際日本学研究科のサイト (<https://www.meiji.ac.jp/ggis/>) の「教員スタッフ」のページに、各教員の指導できる研究テーマの例、これまでに指導した院生の研究テーマなどを掲載していますので、参考にしてください。

Q3：修了後の近年の進路先について知りたい。

A：博士前期・後期課程共に様々な業界への進路実績があります。

【博士前期課程】

< 製造業・卸売業・小売業 >

- 木徳神糧(株)
- I T L ジャパン(株)
- (株)グラウンドワークス
- 生活協同組合連合会大学生生活協同組合
- (株)レナウン
- 無錫村田電子有限公司(有)
(※(株)村田製作所の中国における生産子会社)

< 情報通信業・サービス業 >

- (株)DMM. Comグループ
- (株)F r e e w i l l
- 日本 I B M システムズ・エンジニアリング(株)
- N T T ラーニングシステムズ(株)
- Anique (株)

- (株)JR東日本サービスクリエーション

<教育・学習支援業>

- 私立中学・高校英語科教員
- KCP地球市民日本語学校
- 東京都教育委員会
- 埼玉県教育委員会

<大学院進学・研究職>

- 国際日本学研究科 博士後期課程

【博士後期課程】

- 人間文化研究機構国立国語研究所 助教
- 中央大学 専任教員
- 明治大学国際日本学部 助教

Q4：希望指導教員との事前コンタクトは必要か？

A：研究科として事前のコンタクトは義務づけておらず、必須ではありません。ただし、教員によってはメールアドレスを公開しており、事前連絡等が可能な場合もあります。

(本研究科 HP 上の「教員スタッフ」から各教員の名前をクリックすると、一部の教員の個人アドレスを確認することができます)

Q5：「研究計画書」の添削をお願いしたい。

A：「研究計画書」は出願書類のひとつであり、入学試験の公平性を確保する観点からも、「研究計画書」そのものの添削はできません。ただし、皆さんが希望する研究テーマが、本研究科の教員の専門とマッチングするかといった相談などは可能です。必要な方は直接教員にメールで問い合わせるか、中野事務室(国日研)へご相談ください。

Q6：出願資格審査を受ける必要があるのか知りたい。

A：「学士」の学位を取得しており、15年間以上の学校教育課程を修了している人は出願資格審査を受ける必要はありません。

(「学士」の学位を取得していない人の出願は認めません。)

Q7：語学能力証明書を出願期間内に提出できないが大丈夫か？

A：語学能力証明書は、必ず出願締切日までに提出してください。出願期間後の提出は一切受け付けません。

Q8：学生入試出願に関する注意点について

A：中国国内の教育機関を卒業（見込）・修了（見込）の場合，出願における証明書（学位取得証明書・成績証明書等）は，以下の機関から本研究科へ直接メールで送付された証明書のみ有効となります。

●学位取得証明書…中国教育部学位与研究生教育发展中心（CDGDC）

●成績証明書…全国高等学校学生信息咨询与就業指導中心（CHESICC）

⇒詳しくは6月上旬に公開される入試要項で確認ください。”

Q9：専門科目や小論文の勉強方法について

A：過去問題を見て頂くのは勿論ですが，国際日本学研究科ホームページの「入学試験向け参考文献等」で，事前に読んでおくことが望ましい参考文献等を紹介しています。参照してください。

専門科目（論述問題）・小論文は，論文の構成を意識した準備を行いましょう（過去問を利用）。時事的なトピックにもアンテナを張ることが重要です。

専門科目（解説問題）については，各研究領域の重要な概念やキーワードを理解しておきましょう。

<http://www.meiji.ac.jp/ggis/bibliography.html>

Q10：過去問題の閲覧について

A：こちらのアドレスにて2年間分閲覧が可能です。

<https://www.meiji.ac.jp/ggis/past-exam.html>

Q11：昨年度入試からの変更点について

A：「日本語学・日本語教育学研究領域」を志願する人は，日本の大学・大学院を日本語で授業を受けて卒業・修了（見込みを含む）した場合でも，「日本語能力試験」又は「日本留学試験」の入学の条件（日本語能力）を満たすことが必須となります。

※「日本語学・日本語教育学以外の研究領域」を志願する人は，日本の大学・大学院のいずれかを，日本語で授業を受けて，卒業・修了（見込みを含む）した場合は，日本語能力の証明書提出は免除します。”

Q12：新型コロナウイルス感染拡大を受け，対面授業の実施状況等はどうなっていますか？

A：国際日本学研究科の授業は，現時点で大学の設定した対面授業を行うことのできる人数基準を下回る「少人数授業」にあたるため，院生の要望等を踏まえた上で，対面またはオンラインによる授業の実施方法を決定しています。また，修士論文や博士論文に向けた，論文指導も，オンラインで行うことがありますが，対面の授業

や指導と同等の教育が提供できるよう努めています。